

公益財団法人不老会会員の皆様へ

当講座では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	尿素による再環流がホルマリン固定遺体に及ぼす影響の調査
研究機関の長	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	愛知医科大学 医学部 解剖学講座 講師 大塚 俊
研究の対象となる方	研究実施承認日から 2025 年 3 月 31 日までに医学教育に使用される解剖体
研究期間	研究実施承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 本研究では、ホルマリン固定された解剖体が尿素と反応することで、関節可動域がどのように変化するか調査することや、外科医へのアンケートによって生体との類似度を調査することを目的とします。 〔利用方法〕 ホルマリン固定の解剖体、ホルマリン固定後に尿素を再環流した解剖体、Thiel 固定の解剖体、SSS 固定の解剖体の肩関節、肘関節、股関節、膝関節角度を、角度計を用いて測定します。また、ホルマリン濃度測定器を用いて揮発ホルマリン濃度を測定します。 各方法で固定した解剖体と生体との類似性や、サージカルトレーニングへの有用性をアンケートにて調査します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：医学教育に使用される解剖体から取得 情報：年齢・性別・献体登録時の情報等、サージカルトレーニングに関するアンケート
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、メール送信および電話により 2025 年 12 月 31 日までに、下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報	非該当

の提供	
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 解剖学講座 担当者：講師 大塚 俊 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 12256)